

広報 ゆうまやま

木綿間山

第35号

問合せ先

事務局西部公民館 ☎281-5006

編集発行：広報委員会

1年を振り返って

会長 村上 英子

今年度は新型コロナウイルスの報道が毎日報じられ、町内においても公共施設の休館等により活動自粛を余儀なくされた1年で、当コミュニティの活動も中止になり、皆様との交流も出来ないまま終わりました。

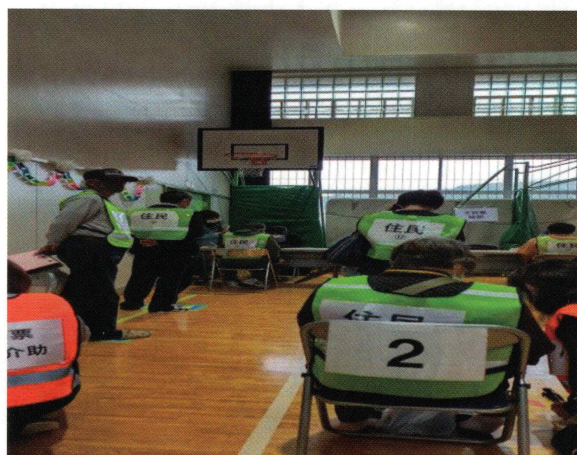
現在、緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ感染者の数値が気になる状況の中、心を和ます桜が咲き、気分も前向きになるような明るい話題も聞こえるようになりました。

ニュースでも報じられているようにワクチン接種が始まり、町内においても新型コロナウイルスワクチン接種事業に係るリハーサルが実施され役員が参加しました。

早く以前のような生活ができるように願うと共に皆様の健康とご多幸を祈念して1年の締めくくりとさせていただきます。

早く接種ができるように願うと共に皆様の健康とご多幸を祈念して1年の締めくくりとさせていただきます。

問診受付状況



雨の中、町長、副町長、教育長の立ち合いの元、令和3年4月4日(日)10時から戸切小学校の体育館において、50人規模の新型コロナウイルス感染予防のワクチンの集団接種のリハーサルが行われました。会長、副会長、事務局長が参加し、事前の問診票を正確に記入し本人確認用の免許書、健康保険証及びマイナンバーカードを準備しており、30～40分程度で終了しました。

退任するにあたって

環境・交通部会長 大西 清文

環境交通部会は、校区の課題である西部地域の公共交通の在り方や今後を考えるために組織されたものであり、町内の他校区の活動の中には存在せず、諸先輩方が内浦の将来を考えた先見性の高い部会でした。

私が部会長をしている時は、地域の連携を模索する中、内浦小学校児童のバス体験乗車を始めました。これは子供たちにバスの利用性体験をしてもらい利用の向上を目指しました。

この取り組みも他の市町村でも見られないユニークな地域活動となっていることを町担当者から伺い、新しいものへのチャレンジをいとわない地域であることを実感しました。

また、湯川区の公共交通については、湯川区長の地域交通に関する部会でのご発言を元に、部会活動として、湯川区民や町役場との話し合いの場を重ねました。その皆様のバス利用を容易にするための「無料タクシー」という新制度の創設をしていただくことができました。この制度は町内の交通過疎地域の将来を考えるものになっています。

また、環境活動の取り組みとしては、3年間町外から大学講師をお招きしての講演会を開催。地域の環境教育活動の必要性や魅力に関するお話を聞くとともに、内浦校区の自然の魅力と地域活動の取り組みについて高い評価を頂く機会にもなり、地域活動を誇らしく感じる場となりました。

更に、女性副部会長を抑えることができる中、女性ならではの魅力ある活動の提案を多くいただき、町のバスを利用した環境視察活動では大勢の参加を頂き、大変好評で今年度の開催も期待されるどころでしたが、コロナ禍により中止を余儀なくされてしまい、大変残念に感じています。このコロナが及ぼす地域活動への影響はとても大きく、早い収束を祈りるばかりです。アフターコロナは、多彩な活動がますます盛んになっていくように願っています。

最後に、急遽地元の内浦区を離れることとなり、長い間お世話になりました。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

令和2年度ふれあい部会は

ふれあい部会長 太田 博江

本年度はコロナ感染問題で、部会として行事は出来ませんでした。

役員会においても三蜜をさけながら、これからの課題を話し合いました。

コロナが収束し、早く元の生活にもどって会員の交流や研修会、祭り事が出来るよう願うばかりです。

昨年から今年にかけてもコロナの収束どころか更に第4波という状況にあります。こういう時ほど町が元気になる為には、地域のコミュニティの活動力が大事です。町と連携をとりながら活性化に努めるよう皆んなで盛り上げましょう。

令和2年度の総括について

防災部会長

吉田 正生

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴いまして部会の世話人との活動を自粛せざるを得ませんでした。しかしながら災害はいつ何時発生するかもしれません。通常の防災器具の点検は実施し、防災週間でののぼり旗の設置などの活動は止めるわけには行けませんでした。今年度、大きな自然災害は有りませんでした。火災、台風、豪雨災害など気をつけましょう。

1年経過して

安全・安心青パト部会

川原 政俊

青パト部会の活動して、のぼり旗を試行錯誤しながら設置してきました。令和2年3月にゴミ不法投棄の、のぼり旗を立てて1年経過していますが、いまだに無傷で残っています。このことは驚きに値します。今までは、設置して台風等で3ヶ月持たなかったからです。よかった点を箇条書きにしてみました。

令和2年3月に設置した環境のぼり旗

- ① ポールを注文ミスで短いものを発注した。
- ② 設置の際、ポールの中ほどと下の2ヶ所を針金で止めた。
- ③ 結果的には、このことがポールが折れずにすんだ。
- ④ のぼり旗の上部横棒が回らないので、からまずに済んだ。



以上の点が1年間も丈夫に残ったと思われます。

そのほかの活動として、交通安全の立て看板を校区内に8ヶ所設置しました。

この立て看板はアルミ製なので、半永久的にもつとのことですから

(余談ですが、私たちがいなくなっても看板は残るとのことです)

設置場所を時々変えれば、交通安全の効果が得られると思います。

次年度から部会長は代わりますが、ご協力、ご助言して頂いた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。これからも、よろしく願いいたします。



令和2年11月設置の交通安全立て看板

就任のごあいさつ

内浦小学校 校長 宮原 仁美

本年度、岡垣町立内浦小学校長に就任しました宮原仁美と申します。

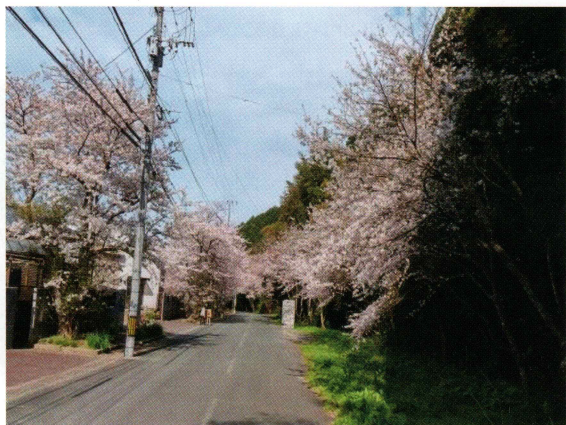
平成16年4月から平成29年3月まで、岡垣中学校に勤務し、その後、福岡県教育センターに2年間、遠賀町立遠賀中学校に2年間勤務して、本年度から本校に赴任しました。

内浦小学校は、自然豊かで子どもたちが伸びやかに学ぶ環境が整っている学校です。内浦小学校の子どもたちは、元気でかわいく素直な子どもたちです。

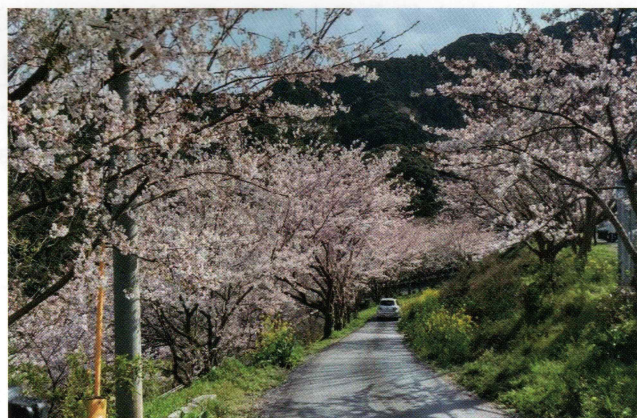
今後は、本校職員と共に、内浦の強みを生かした特色ある教育活動の中で、きめ細やかな指導をして行きたいと考えています。また、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域の皆様と連携・協働しながら教育を進めていきたいと考えています。

今後とも、ご協力ご支援をお願いいたします。

3月24日成田山 ゆうれい坂付近



3月24日成田山駐車場から降り口付近



今年も見事に桜は咲きました。見物客もルールを守りほとんどが静観されていた。来年こそは、にぎやかな花見になればと楽しみに咲くのを待ちましょう。

編集後記

コロナ禍で思う。この近年、地震・豪雨災害等の外、昨年の年明け頃から全国的に新型コロナウイルスが感染拡大し、普段の生活が奪われました。自粛、自粛で人と思うように会うことが出来ない生活様式になりコミュニケーションが取りづらい状況でもあります。

この時期に地域で何か出来ないかと考えますが、人と人の交流することがコミュニケーションであり、なかなかベストな事業が見当たらない今日この頃です。

町役場にて関係お機関と協議を重ね、少しでも早くワクチン接種が出来るような努力されています。接種率が上がり、以前の生活に戻ることを望みながら、少しずつでも地域コミュニティが実現できるように願っています。

安部